



# 村の情報通信基盤整備事業

村内の光ファイバ網整備は1芯のみで行います。

インターネットや携帯電話の普及など、情報化の進展は、私たちの生活を便利に豊かな社会発展に大きく貢献しています。しかし、情報化の恩恵を受けない地域では、社会的・経済的に大きな不利が生じています。

このため、村では、情報格差を解消し、生活の利便向上や地域活性化を図るうえで有効な手法である光ファイバ網を村内全域に整備するとともに、この光ファイバ整備を活用して、村と全世帯との情報伝達を行う「お知らせシステム」の構築を図る情報通信基盤整備事業を検討してきました。

お知らせシステムを含む光ファイバ網整備は、大きな社会資本の整備となることから、村民の意向を把握するため、昨年の11月から12月にかけて全行政区を対象に村政懇

談会を開催しました。全世帯数の約3割の572人という多くの参加と、さまざまな意見や要望を頂きましたので、本年1月の広報に、村政懇談会の意向調査結果を掲載したところであります。

その上で、平成21年3月議会定例会において、新年度予算に情報通信基盤整備事業を提案して参りましたが、採決の結果、1芯のみとの予算を減額する修正案が可決されました。村政懇談会で説明をしてきた内容と異なり「お知らせシステム」は導入せず、インターネット用の光ファイバ基盤整備のみでの工事を進めて参ります。

村民の皆さんには、インターネット用の1芯での光ファイバ網整備を、ご理解くださるようお願い申し上げます。

## 1芯での整備のイメージ

